

【がん種】 [大腸癌](#)
 【レジメン名】 FL③sLV5FU2
 【登録番号】 160538
 【1コースの期間】 2週間
 【総コース数】 進行・再発:PDまで
 【催吐性リスク】 軽度:5-FU
 【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性): 5-FU
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
 【根拠論文】 J Clin Oncol 22:229-237, 2004. J Clin Oncol 22:23-30, 2004. J Clin Oncol 23:4866-4875, 2005. J Clin Oncol 26:2006-2012, 2008. J Clin Oncol 26:2013-2019, 2008. J Clin Oncol 28:4697-4705, 2010. J Clin Oncol 25:1539-1544, 2007. Ann Oncol 19:1720-1726, 2008. J Clin Oncol 24:394-400, 2006. J Clin Oncol 27:5727-5733, 2009.

【点滴の時間】 [day1~]49時間35分
 【費用】 編集中
 【その他】 原則、CVポートを増設して治療を行う。

インフューザーポンプの使用可否:CVポートを造設している、外来で治療する場合(入院導入後に外来へ移行する場合には初回入院時も使用可能、外来に移行せずに入院で治療を継続する場合には使用不可)。

インフューザーポンプ使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V		フィルター使用					
3	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間	○				
	レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	200 mg/m2		フィルター使用					
4	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
	5-FU注	400 mg/m2		フィルター使用					
5	5-FU注	2400 mg/m2	側管	46時間	○				
				インフューザーポンプ使用					

インフューザーポンプ未使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V		フィルター使用					
3	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間	○				
	レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	200 mg/m2		フィルター使用					
4	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
	5-FU注	400 mg/m2		フィルター使用					
5	生理食塩液 500mL	1 B	側管	46時間	○				
	5-FU注	2400 mg/m2		フィルター使用					
6	生理食塩液 100mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				